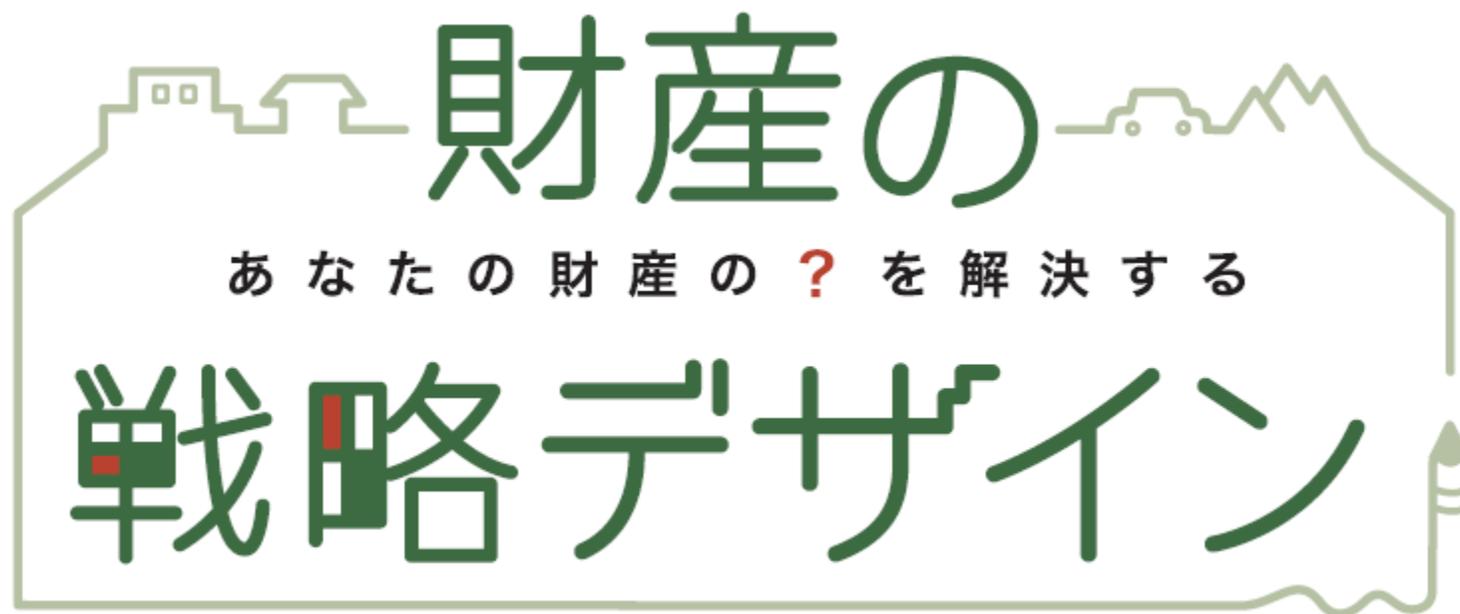


石脇 俊司 様



株式会社 継志舎

2023年3月1日



財産の戦略デザインは、

あなたの財産に、
安定と富の積み上げをもたらし、
あなたとあなたの家族に、
安心と円満をもたらします。

- 安定** : 変動が少ない。未来に存続しつづける。流動性が確保されている。
- 富の積み上げ** : 根拠をふまえて着実に増えていく。
- 安心** : リスクがコントロールされていて、いつも安心していただける。
- 円満** : おだやかに。家族皆が満ちたりる。



思い

実現したいこと

- ・ 世界一周旅行をしたい
- ・ 生涯現役で働き続けたい
- ・ 株式の取引で儲けたい
- ・ 不動産の家賃収入を得続けたい
- ・ ずっと自宅に住み続けたい
- ・ 夫婦円満の生活

心配なこと

- ・ 子供たちの相続税負担が大きくなるか
- ・ 遺産の分割でもめるのでは
- ・ 後継者が社長になりうまく事業を進められるか
- ・ 老後生活が豊かに暮らせるか
- ・ 妻が最後まで元気で楽しく過ごせるか
- ・ 高齢になったときに資産の管理は誰がしてくれる

事実

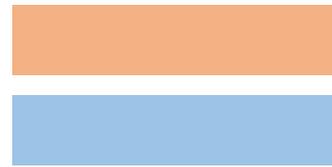
資産種類		金額(万円)
現金・預金		1,500
金融商品	株式	500
	債券	200
	投資信託	500
自社株式		10,000
不動産	自宅	2,000
	賃貸不動産	10,000
その他	貸付債権	3,000
	金	300
合計額		28,000

	名前	年齢	職業等		
本人	石脇俊司	65	会社オーナー		
配偶者	石脇 妻	64	会社役員		
子	続柄	名前	年齢		
	長男	石脇太郎	38		
	長女	石脇花子	35	子の配偶者	有
				子の子供の人数	2
次男	石脇次郎	33	子の配偶者	有	
			子の子供の人数	1	
			子の配偶者	無	
			子の子供の人数	0	

「思い」と「事実」からの課題

- 相続税課税可能性 有
相続人：4名
基礎控除額：5,400万円
- 後継者への資産承継
- 家族への資産承継
- 資産管理・運用
- 遺留分侵害
- 納税資金
- 相続税課税対象額拡大
- 流動性資産不足

『思い』の整理と分析



実現したいこと

心配なこと

家族との生活

夫婦円満の生活

ずっと自宅に住み続けたい

妻が最後まで元気で過ごせるか

老後生活が豊かに過ごせるか

仕事

生涯現役で働きたい

後継者が社長になりうまく事業を勧められるか

資産

株式の取引で儲けたい

不動産の家賃収入を得続けたい

子供たちの相続税負担が大きくなるか

遺産の分割でもめるのでは

高齢になったとき資産管理は誰がしてくれる

趣味・楽しみ

世界一周旅行をしたい

思いの分析

実現したいこと

夫婦・家族で楽しく充実した生活をずっと続けていきたい

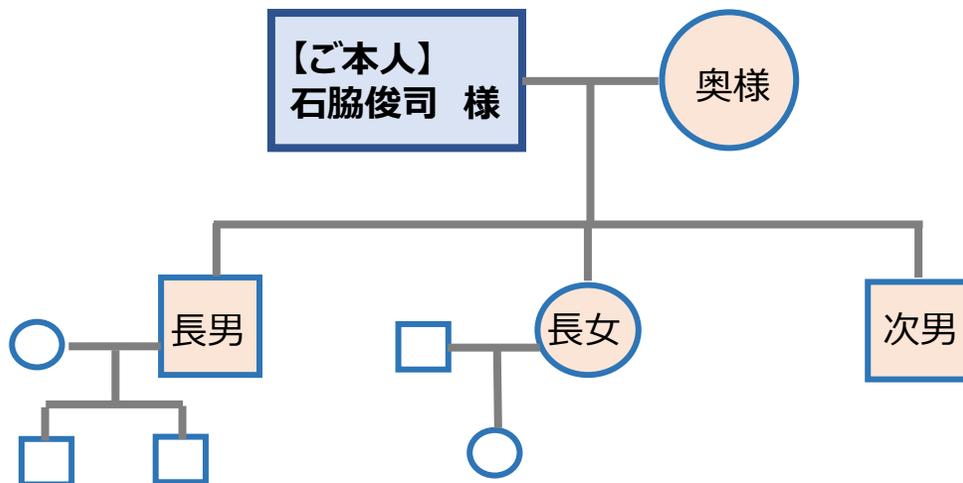
心配なこと

事業承継・相続に心配がある
高齢になったときの生活と資産管理に不安がある

『事実』の整理と分析



家系図



- 相続税課税対象資産額：24,000万円
(生命保険非課税枠：2000万円)
- 相続税の総額：3,350万円

個人財産の内訳

資産区分	(万円)	資産区分	(万円)
流動性資産	3,000	借入金	5,000
割合	10%		
受取保険金	3,000	純資産	26,000
割合	10%		
準固定性資産	13,000		
割合	42%	固定資産	12,000
固定資産	12,000		
割合	39%		
31,000		31,000	

自社株式・会社への貸付金は、準固定性資産に位置付ける

個人財産のバランスシート (B/S)



事実の分析

現在の財産内訳から、相続税の納税は可能と思われます。
しかし、自社株も含めた固定性資産の割合が多いため、相続時の遺産分割についてあらかじめの準備が必要と思われます。



会社のB/S



資産合計
50,000万円

負債・純資産合計
50,000万円

会社株主名簿

発行済み株式総数	100	
株主	株数	株主の属性
石脇俊司	80	代表取締役
石脇 妻	10	代表取締役の配偶者
石脇太郎	5	代表取締役の長男
鈴木一郎	5	取締役
	100	

種類株式の発行は、無し

定款事項

- 取締役会の設置は、無し
- 代表取締役は取締役の互選
- 相続時、株式の買取請求ができる
- 株式の譲渡承認は株主総会

事実の分析

会社B/Sでは、純資産額の割合が高いです。
 今後の自社株の価値の上昇に向けて、事業承継への対応が必要と考えます。
 親族以外の少数株主がいます。少数株主といえども、株主権の行使により会社運営に問題となることがあります。少数株主への対応検討は必要と考えます。
 現在の株主構成は、会社運営に安定的ですが、承継への課題の検討は必要と考えます。
 株式承継を検討しながら定款内容の検討も必要と考えます。

短期

突然に亡くなったときの財産承継への備え

- 自社株の承継
- 賃貸不動産の承継
- 会社借入金の連帯保証債務の承継
- 妻の老後生活費用の確保

突然に亡くなったときの会社経営

- 誰が代表取締役役に就任するか
- 取締役の選任
- 少数株主への対応
- 会社運転資金の確保

中・長期

賃貸不動産の管理

- 建物維持（修繕）・建替えへの対応
- 所有者が高齢になることで管理できなくなることへの備え

相続時の財産承継

- 自社株を後継者に集中して承継する
- 今後、株価が上昇することへの対応
 - 相続税納税資金の確保
 - 後継者の遺留分侵害への対応

上記の課題のうち、解決したいとお考えの課題をお選びください



1. 総合資産管理分析表 (Wealth Management Workstation)

工藤実 (仮名) 様
WEALTH MANAGEMENT WORKSTATION
作成日 2021年07月07日

総合資産管理分析

ご家族の状況

工藤 実 (仮名)	昭和23年1月1日	73歳	男性	石濱 さやか	昭和57年1月1日	39歳	女性
工藤 千恵子	昭和26年1月1日	70歳	女性	工藤 光一	昭和59年1月1日	37歳	男性
工藤 真一	昭和53年1月1日	43歳	男性				

相続発生時期: 一次 0 年後 二次 10 年後

ファイナンシャルゴール

お客様からご要望いただいた財産に係わる目標。ご希望は以下のとおりです。

- ★ 投資戦略を立てながら金融資産を確立して成長させたい。
- ★ 事業承継(経営の承継、財産の承継)対策を成功させたい。
- ★ 次世代、次々世代へ財産を円滑に承継させたい。

家計貸借対照表(現状分析) - 資産負債の全体像の把握 -

※現在お客様、ご家族が保有されているすべての資産と負債を把握して、可視化し、その全体像を把握しましょう。家計貸借対照表を作成することにより、見える負債である一次、二次相続未払金が買替され、将来の納税に対し、準備が必要であることが確認できます。

資産		負債	
預貯金	8,243	一次相続未払額	28,217
有価証券	7,965	二次相続未払額	2,072
生命保険	8,000	葬儀費用	0
年金保険	2,400	短期借入金	0
退職貯蓄	5,000	(長期)借入金	0
不動産	23,000	(長期)事業ローン	0
自営業	61,431	(長期)その他ローン	0
その他の財産	0	預かり保証金未払金	0
総資産額	115,040	純資産額	84,750
		総負債額	30,290

※将来の相続税の納税が家全体の金融資産から見て可能か否かを分析します。
もしも一次相続、二次相続が発生したら預貯金、有価証券、死亡保険金、退職貯蓄等で相続税が納付困難であることがわかります。

流動比率	93 %	相続税の割合	26.3 %
------	------	--------	--------

※一次相続発生時(相続税)の納税とすると、1行は、納付することになる相続税の納付手取額です。
※二次相続発生時(相続税)の納税とすると、1行は、納付することになる相続税の納付手取額です。
※流動比率(%) = (「預貯金+有価証券+生命保険+年金保険+退職貯蓄」) / (「一次相続未払額+二次相続未払額+葬儀費用+短期借入金」) × 100
※相続税の割合(%) = (「一次相続未払額+二次相続未払額」) / (総資産額) × 100

ご家族がお持ちの金融ポートフォリオの分析

お客様がお持ちの預貯金、株式、債券、投資信託を国内外の銘柄金融資産、株式、債券等のアセットクラスに区分して再評価しました。リスの分散化から導かれるモデルポートフォリオとお客様の現在のポートフォリオとの差異を確認しましょう。

アセットクラス	金額 (万円)	配分比率
国内短期	6,706	40 %
国内債券	2,204	13 %
国内株式	2,665	16 %
国内REIT	0	0 %
外国債券	2,441	14 %
外国株式	1,179	7 %
外国REIT	1,677	10 %
オルタナティブ等	0	0 %
コモディティ	0	0 %
合計	16,874	100 %

※評価基準日: 2021.07.07

現状ポートフォリオ診断

お客様の資産運用に対する考え方は、やや保守的と評価され、価格変動をおさえながら、投資元本の安定的運用を重視されるタイプの投資家と診断されます。それに対し、現状のポートフォリオはモデルポートフォリオに比べ、やや高いリスクを負担しています。

生命保険の分析 (死亡保障の推移)

ご本人さまに方が一のことがあった場合、残されたご家族の保障はどうなるでしょうか。ここでは現在ご契約の生命保険契約に基づき、ご本人さまに方が一のことがあった場合の保障額の推移について分析を行います。

死亡保障グラフ (ご本人さまに方が一のことがあった場合)

死亡保障内容

現在の死亡保障

うち病気による死亡・高度障害時	6,000万円
死亡保険金 - 一時金	6,000万円
死亡保険金 - 年金受取 (初年度)	0万円
うけがによる死亡・高度障害時	0万円
所定の葬儀費用のとき	0万円

※死亡保障に係る診断
ご本人さまに親任、方が一のことがあった場合の保障額は6,000万円です。

ご本人さま平均余命時に方が一のことがあった場合の保障額は6,000万円です。

個人年金保険の分析 (老後保障の推移)

老後の生活において安定した収入の柱となるのは公的年金です。しかし、公的年金だけでは豊かな老後をむかえるために現在では老後の生活資金に不安を抱える方も多く思われます。ここではご契約の個人年金保険の年金受取の推移を表現します。

老後保障グラフ (年金受取人: 本人)

老後保障内容

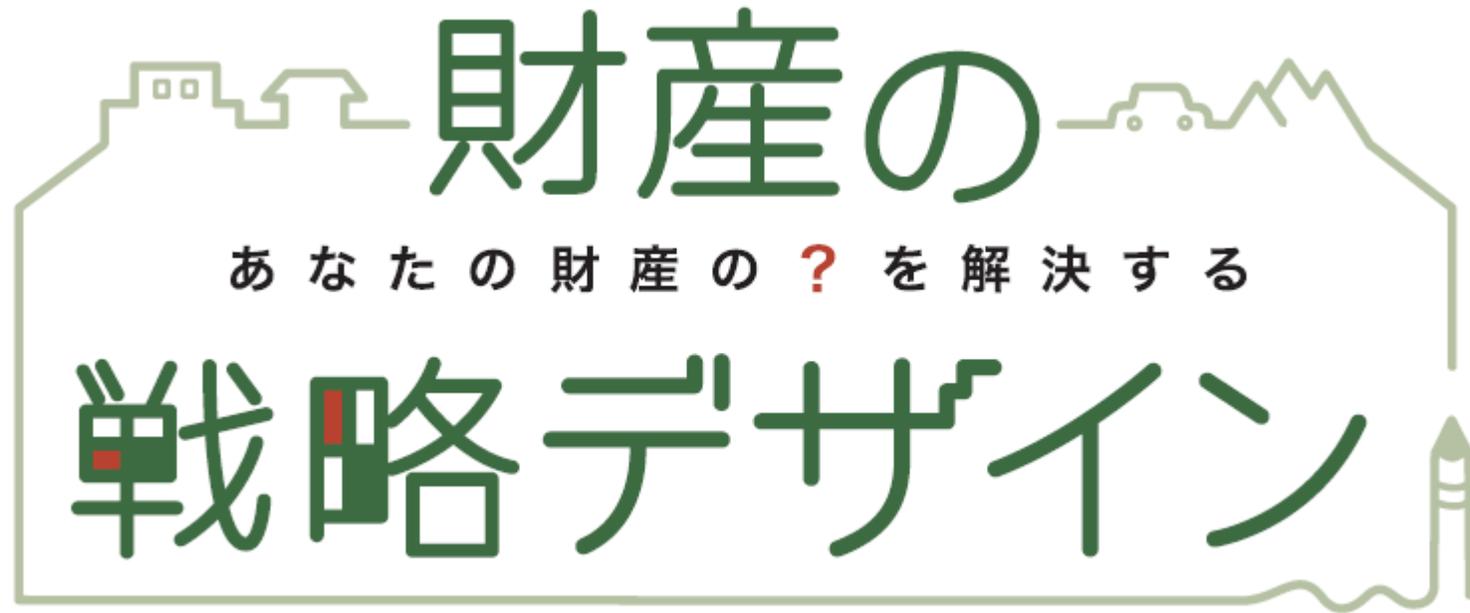
一生に受取る年金総額: 3,000万円

※老後保障に係る診断
ご本人さまが65歳時にお受取になる年金額は年額3,000,000円です。

ご本人さま平均余命時にお受取になる年金額は年額3,000,000円です。

別紙をご確認ください

8



財産の

あなたの財産の？を解決する

戦略デザイン

課題解決のロードマップ°

課題解決のロードマップ（サマリー）



短期の課題解決

項目	解決にむけた行動	担当専門家
<input type="checkbox"/> 自社株の承継先	<input type="checkbox"/> 遺言、信託の検討	〇〇弁護士 〇〇税理士
<input type="checkbox"/> 賃貸不動産の承継先の決定	<input type="checkbox"/> 遺言、信託の検討	<input type="checkbox"/> アドバイザー
<input type="checkbox"/> 社長急逝時の会社の負債を返済	<input type="checkbox"/> 会社契約の社長の生命保険の内容確認	<input type="checkbox"/> 保険 〇〇さん
<input type="checkbox"/> 急逝時の妻の老後生活資金の確保	<input type="checkbox"/> 急逝時のキャッシュフロー表を作成	

中・長期の課題解決

項目	解決にむけた行動	担当専門家
<input type="checkbox"/> 賃貸不動産の老朽化への対応	<input type="checkbox"/> 不動産賃貸管理の方針を再検討	<input type="checkbox"/> 不動産
<input type="checkbox"/> 所有者が高齢になったときの管理方法	<input type="checkbox"/> 事業承継の方針を決めていく	〇〇税理士
<input type="checkbox"/> 自社株承継の相続税納税資金への対応	<input type="checkbox"/> 納税資金対策	〇〇弁護士
<input type="checkbox"/> 相続時、家族へ承継する資産の検討	<input type="checkbox"/> 生命保険、計画的な贈与	<input type="checkbox"/> 保険
	<input type="checkbox"/> 遺産分割方針を決めていく	〇〇さん
	<input type="checkbox"/> 遺言、信託などの検討	

詳細は、別紙、課題ごとにまとめたロードマップをご確認ください



課題解決のロードマップ【個別】

短期的に対応が必要な課題：自社株の承継先

社長に万が一の事態が生じた場合のリスクを回避する目的

課題解決に向けたアクション	担当者	1月			2月			3月		
		10	20	30	10	20	30	10	20	30
後継者について社長の意向確認	□□アドバイザー		●							
自社株の相続税評価額を試算	○○税理士		→	→	●					
社長の保有財産の相続税評価額を算出	○○税理士		→	→	●					
家族への財産承継について社長の意向確認	□□アドバイザー					●				
遺言案の検討	○○弁護士					→	→	●		
遺言ではなく信託を利用することの検討	○○弁護士					→	→	●		
遺言又は信託の公正証書の作成	○○弁護士							→	→	●

課題解決のロードマップ【個別】

中・長期的に対応が必要な課題：自社株の承継先 自社株承継の相続税納税資金の確保

課題解決に向けたアクション	担当者	1月			2月			3月		
		10	20	30	10	20	30	10	20	30
後継者について社長の意向確認	□□アドバイザー		●							
自社株の相続税評価額を試算	○○税理士		→		●					
社長の保有財産の相続税評価額を算出	○○税理士		→		●					
家族への財産承継について社長の意向確認	□□アドバイザー				●					
意向をふまえた財産分割での相続税の試算	○○税理士				●					
後継者の納税資金の確認	□□アドバイザー				●					
納税資金確保の方法を検討	□□アドバイザー						●			
社長の生命保険契約状況の把握(個人・法人)	□□保険							●		
役員退職金制度の有無の確認	□□アドバイザー							●		
役員退職金を確保する方法を検討	□□アドバイザー							●		
生命保険契約の見直し	□□保険							→		●

見直した生命保険契約を今後継続して支払う
役員退職金積立てに向けて、今後継続して資金を準備していく